



墨東の学び

都立墨東特別支援学校

校長 田村 康二郎

2学期末を迎えました。持ち帰りしました通知表を保護者の皆様には、墨東生の前で読み上げていただき、今学期の努力を認め、讃え、そして励ましていただくことで、墨東生個々の今後の学ぶ意欲を培ってくださることを期待いたします。来年が更に健康で安心して学びに向かえる一年間となりますように願っています。皆様、良いお年をお迎えください。

<御礼> 墨東祭への御参加に感謝いたします！

12/13(金)14(土)の2日間、制約条件なしの形で、開催できた墨東祭に、多くの保護者・御家族が御来場くださいました。また、日頃は別の場で学びを積み重ねている、かもめ分教室の墨東生たちも東部療育センターの医師と看護師の付添い支援を受けて、本校行事に参加することができました。併せて本校舎の学び舎に集うことのできない病院内や自宅で学んでいる墨東生は、作品を通して一堂に会せるように作品展示で参加しました。作品と舞台発表を通して感じ取れた墨東生の成長にメッセージを寄せてくださった保護者の皆様、墨東生はもとより、教える側にもとても大きな励みとなります。

感謝を込めていくつか御紹介します。(抜粋)

◆各プログラムは先生方の多様なアイデアが豊富に盛り込まれていて、とても楽しい発表でした。日々の中で、先生方が子供達のことをよく見てよく理解しているということが分かる内容になっていと感じました。⇒この一言をいただいたことで教職員も3学期全力でできます！

◆アトラクションも例年のゲームコーナーとは違ったアプローチがとても面白かったです！各々に与えられた役割を懸命に取り組み子供たちの姿に感動させられました。準備から練習、指導、この日のために頑張っておいていただいた先生方に心より感謝申し上げます。

◆我が子だけでなく、同級生の皆さんの成長を感じました。先生が焦ったり、急かしたりしなかったのがとても良いと思います。見学している生徒たちと先生の応援の声も温かい気持ちになりました。お疲れ様でした&ありがとうございました。⇒墨東生それぞれの成長をお客様皆で分かちあえる場がコンセプトです。

◆我が子もやりきった二日間！緊張と笑顔に成長を感じました！普段あまり接することができない高学年の方のお母様と係分担任を通してお話しする機会にもなり、楽しかったです。

先生方、スタッフの方、PTAの方々親子で楽しめる墨東祭ありがとうございました！⇒多くの観客の中でやりきることは成長の飛躍チャンスでもあります。応援に感謝いたします。

◆正面玄関入口のウェルカムフラッグは、ずっと揚げておいていただきたいほど素晴らしい作品だと感動いたしました。⇒御安心ください。来年良いものは掲示できそうです。

◆学年皆が協力する姿、良かったです。点のよりに墨東生とお客様が触れあえるアトラクションは楽しんで良かったです。久しぶりに学校での様子を見られて、以前からたい成長したと感慨深くなりました！⇒励ましに感謝、学校は成長の実感から希望を灯す場です！

<祝:表彰内定>B:いるか分教室・病院訪問生に表彰状！

全都の病弱特別支援学校で学ぶ児童・生徒を対象に、模範となる学びを実践している児童・生徒に送られる「東京都病弱教育特別支援学校長会表彰が本校の2名に贈られるとのお知らせが入りました。3学期の始業式時に表彰状を贈りして、その学ぶ態度を讃えます。

◆B部門 つばさ病院訪問学級：高1 生徒

「表彰理由：退院後の高校生活を見据え、目標をもって学習にひたむきに努力する姿は他生徒の模範です。」

◆B部門 いるか分教室：小3 児童

「表彰理由：入院中であっても、様々な学習に意欲的に取り組み、その豊かな発想が他児童の模範です。」

冬季休業中の教職員全員研修の御紹介

冬季休業中の1/6が本校の仕事始めです。専門性に一層の向上を目指して、全校研修を計画しています。

<S:肢> テーマ「心理発達の特性理解をふまえた、多様な肢体不自由児童・生徒への具体的な支援」(仮称)
講師：外部専門員：佐野幸子先生(児童発達支援センターミライ工代表)

<B:病> テーマ「病弱教育の変遷を理解し、支援をする上で大切なことをふまえて今後の指導に生かす」(仮称)
講師：二松学舎大学教職課程センター特別招聘教授：萩庭圭子先生 元文科省特別支援教育調査官(病弱教育担当)

校長 田村康二郎

